

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	経営企画課担当課長	大隅 啓一
経企-03 行財政改革推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	経営企画課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	行革推進課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針
		行財政運営	行財政運営

1 事業の目的

対象	市職員等
意図	本市の厳しい行財政運営の中、限られた行政資源を効果的・効率的に運営するため。
効果	健全で市民にわかりやすい効果的・効率的な都市経営の実現

2 平成27年度に実施した事業の概要

<p>・行政評価として内部評価を実施するとともに、評価結果を踏まえた外部評価を実施した。</p>
--------------------------------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	379	673	当初予算(千円)	1,312		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	379	673	一般財源	1,312		
事業経費運営	人員配置数	2.0	2.0	人員配置数	2.0		
	人件費(千円)	15,203	15,866	人件費(千円)	15,875		
	総事業費(千円)	15,582	16,539	総事業費(千円)	17,187		
	市民1人当りの経費(円)	88	93	市民1人当りの経費(円)	97		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市民評価委員

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	これまでと同様に鎌倉市民評価委員会による外部評価を効果的に行い、市の施策に反映させていく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	新たな行政評価制度に基づく評価1年目であり、まだまだ不十分であるが、一部改善を加えながらこの方式を定着させ、総合計画に掲げる将来都市像の実現を目指す。
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な評価シートの作成に手間がかかること、評価が予算と連動していないこと。</li> <li>予算体系と総合計画の体系を統一化するため、新たな効果的な評価手法の確立が求められた。</li> </ul>
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策進行評価と事務事業評価を一体的に行う新たな行政評価制度を構築し、評価と予算の連動する評価シートを用いて評価を実施した。</li> </ul>
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内の理解不足を解決するための周知・説明が足りていない。</li> </ul>

- 解決  
 一部解決  
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	外部評価の実施							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市		
他市実績	○	○	○	○	○	○		
比較事項	事務事業評価における指標設定率※各市公表されている最新のデータを記載しています。							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市		
他市実績	目標:100%	-	-	-	-	-	-	
	58.7%	97.3%	100.0%	-	100.0%	100.0%	96.3%	
比較事項	実施計画の進行管理の結果を公開している自治体※各市公表されている最新のデータを記載しています。							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市	流山市	
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	事務事業評価における指標設定率						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
適切に総合計画を進行するために、事務事業評価において指標を設定する必要があるため。	目標値	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	100.0				
	実績値	74.8	58.7								
	達成率	93.5%	69.1%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	第3期基本計画の進行管理に必要な指標設定率であるが、平成27年度の行政評価において、評価シートを変更したことにより、指標設定率の低下が見られた。客観的評価を行うためにも指標設定率を向上させていく。また、市民の理解を得られる適格かつ客観的な基本計画の進行管理を行い、基本計画の将来都市像の実現を目指す。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--------------------------------------------	-------------------------------------------------